

庄司紗矢香 &

メナヘム・プレスラー

デュオ・リサイタル

《プログラム》

W.A.モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 K.454
Wolfgang Amadeus Mozart (1756-91) : Sonate für Violine und Klavier K. 454
R.シューマン：ヴァイオリン・ソナタ 第一番 イ短調 Op.105
Robert Schumann (1810-1856) : Sonate für Violine und Klavier Nr.1 Op.105
J.ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第一番 ト長調「雨の歌」Op.78
Johannes Brahms (1833-97) : Sonate für Violine und Klavier Nr.1 Regentropfen Op.78
F.シューベルト：ヴァイオリン・ピアノのための三重奏曲 イ長調 Op.162, D.574
Franz Schubert (1797-1828) : Duo für Violine und Klavier Op.162, D.574

庄司紗矢香(Violin)
©Julien Mignot

2014
4/6sun

15:00開演(14:30開場)

会場 / 栃木県総合文化センター
サブホール

全席指定 ▶ 4,000円

12月18日(水) 10:00発売開始

プレイ
ガイド

栃木県総合文化センタープレイガイド(10:00-19:00)

(電話予約) ☎028(643)1013

(インターネット予約) <http://www.sobun-tochigi.jp>

○下野新聞プレイガイド(東武宇都宮百貨店2F)

○宇都宮市文化会館プレイガイド

○FKDショッピングプラザ宇都宮(3F)

○FKDショッピングモール宇都宮 インターパーク店(2F)

主催

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

—青少年の健全育成と県民文化の振興を旨します—

お問い合わせ

(公財)とちぎ未来づくり財団(栃木県総合文化センター)

☎028(643)1010(文化振興課)

〒320-8530 宇都宮市本町1-8

URL <http://www.sobun-tochigi.jp>

お願い
お断り

※詳細は変更になることがありますので、予めご了承ください。

●就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

●会場内では、携帯電話等の電源をお切りください。

●開演後にお越しの際はロビーでお待ちいただく場合があります。

●会場には駐車場がございません。

●公共交通機関をご利用いただくか、周辺の有料駐車場をご利用ください。

メナヘム・プレスラー(Piano)
©Alain Barke

Profile



©Kishin Shinoyama

庄司 紗矢香(ヴァイオリン)

Sayaka Shoji, Violin

「絶大なスタミナと何事にもひるまない精神により、庄司は希有な音楽家として出現した。世界は彼女のものだ。」

グラモフォン誌

1999年、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少、日本人として初めて優勝して以来、庄司紗矢香は、ヴラディーミル・アシュケナーズ、サー・コリン・デイヴィス、シャルル・デュトワ、マリス・ヤンソンス、ロリン・マゼール、ズービン・メータ、セミヨン・ビシュコフ、パーヴォ・ヤルヴィ、アントニオ・パッパーノといった世界を代表する指揮者たちと共演を重ねる。

2012/2013年シーズンはサンクトペテルブルク・フィル、ロンドン・フィル(テミルカーノフ指揮)、ロシア国立響(ユロフスキ指揮)との再共演を行った。また、セビリア王立響、BBCウェールズ響と初共演を果たした他、ウィーン・コンツェルトハウスではウィーン響(大野和士指揮)と再共演した。

2013/2014年シーズンには、BBCフィル(佐渡裕指揮)、モスクワ・フィル、マドリッド王立劇場管などの初共演が予定されている。

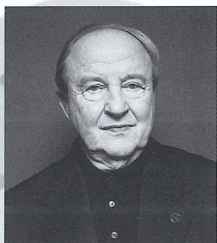
ソリストとして多忙の活躍を見せている庄司は、室内楽の活動にも力を入れており、これまでにジョシュア・ベル、ワディム・レーピン、イタマール・ゴラン、イエフィム・ブロンフマン、ステイーヴン・イッサーリスと共演。

庄司は、ドイツ・グラモフォンと契約を結んでおり、ズービン・メータ指揮イスラエル・フィルとのデビューCDは高い評価を得ている。最新録音であるサンクトペテルブルク・フィル(テルミカノフ指揮)との共演のプロコフィエフの協奏曲は2014年の初めにリリースされる予定。

2004年ケルン音楽大学卒業以来、ヨーロッパを拠点として活躍中。

1999年度都民文化栄誉章、2000年出光音楽賞、2009年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス“レカミエ(Recamier)”である。



©Alain Barker

メナヘム・プレスラー(ピアノ)

Menahem Pressler, piano

ドイツ、フランス国家から民間人に与えられる最高位の勲章を授与されたメナヘム・プレスラーは、現代を代表するピアニストの一人である。ボザール・トリオの創設メンバーであり、その51年の全歴史を通じてピアニストを務め続けた。ほぼ70年に渡るキャリアを誇り、世界で最も誉れ高く著名な音楽家の一人である。ソロとしても室内楽の演奏家としても傑出した才能を持ち、世界中の主要舞台で活躍。2013-14シーズンは、アムステルダム・コンセルトヘボウ管、パリ管、ベルリン・フィルとの共演が予定されている。

1923年、ドイツのマクデブルク生まれ。ナチスから逃れて1939年に家族と共に移住したイスラエルで音楽教育を受ける。1946年、サンフランシスコのドビュシー国際コンクールで優勝し、本格的なキャリアをスタート。続いて名匠ユージン・オーマンディ指揮フィラデルフィア管でアメリカデビューを果たした。

1955年、ダニエル・ギレ、バーナード・グリーンハウスと共にボザール・トリオを結成。長く広く賞賛を浴びた世界屈指の室内アンサンブルであり、ピアノ三重奏曲の人気を大きく高めた功績を持つ。トリオは世界各地で年間100以上のコンサートをこなす、レコーディングではピアノ室内楽の曲目をほぼ網羅している。2008年8月21日、ボザール・トリオは1955年にデビューしたタンゲルウッドで最後の演奏を披露して解散。

2012年6月には、スペインのソフィア女王よりメニューイン賞を授与され、またグラモフォン誌の殿堂入りを果たした。

プレスラーは音楽に人生を捧げており、ツアーもマスタークラスも行っていない時は、ディスティンゲイッシュド・プロフェッサーの地位にあるインディアナ大学のスタジオにいる。室内楽の第一人者としての威信は非常に高く、ピアノと音楽の知識は膨大にして、楽譜に書かれた音符から美しい音楽を紡ぎ出す聡明さを伴う。